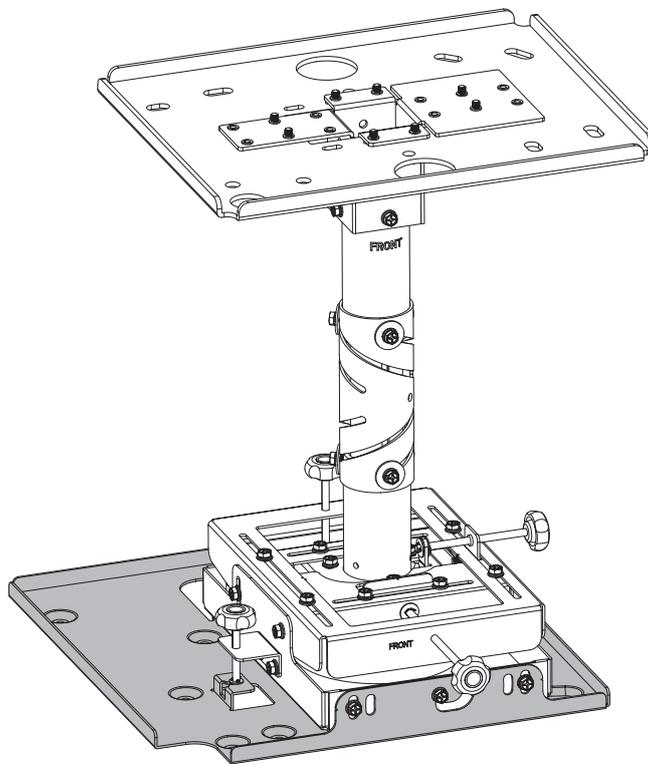


施工説明書

天つり金具（取付用ベース金具）

品番 **ET-PKD130B**



※上記イラストは、本製品と別売品の天つり金具（高天井用、6軸調整）ET-PKD130Hとを組み合わせた状態のものであります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■お客様へ

この「施工説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。

また、工事完了後は、この「施工説明書」を工事業者様よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。

移設、撤去の際には、工事専門業者にご依頼のうえ、この「施工説明書」をお渡しください。

■工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。

特に「安全上のご注意」（3～4ページ）は、施工前に必ずお読みください。

プロジェクターに別売品の固定焦点レンズ ET-DLE030 を取り付けて使用する場合は、固定焦点レンズの「取扱説明書」をお客様からお受け取りのうえ、この「施工説明書」と併せてお読みください。工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しください。

■ もくじ

安全上のご注意	3
製品の構成	4
取り付け工事寸法.....	6
固定焦点レンズ ET-DLE030 を使用の場合	6
固定焦点レンズ ET-DLE030 以外、またはプロジェクター PT-RZ575 / PT-RZ570 を使用の場合.....	8
取り付け方	13
スクリーンの取り付け.....	13
ねじ類の締めつけトルク.....	13
プロジェクターへの金具の取り付け	13
プロジェクターへの落下防止セットの取り付け	15
既設金具を使用する場合	16
既設金具からプロジェクターを取り外す.....	16
既設金具にプロジェクターを取り付ける.....	17
仕様.....	18

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
	<p>■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は工事専門業者あるいは購入店に依頼する （工事の不備により、大きな事故の原因となります。） ⇒本書の「取り付け方」に従って確実に施工してください。</p>
	<p>■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う （工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。）</p>
	<p>■ 取り付け作業は2人以上で行う （頭上または高所への取り付け、プロジェクター本体の取り扱いを考慮し、取り付け作業は2人以上で行ってください。）</p>
	<p>■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う （倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。）</p>
	<p>■ 天つり金具のねじ・ボルト類は、不用意に取り外したり、緩めたりしない （プロジェクターが落下して、けがの原因となります。）</p>
	<p>■ 強度の不足する場所に取り付けない （落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。）</p>
	<p>■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない （火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、落下するおそれがあります。）</p>
 分解禁止	<p>■ 天つり金具を分解したり、改造したりしない （こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。）</p>

安全上のご注意（つづき）



注意



- 指定の Projektor 以外は取り付けない
- 指定の方法以外の取り付けは行わない
(落下したり、破損してけがの原因になります。)
- Projektor の吸・排気をさまたげる場所に設置しない
(火災の原因となることがあります。)
- Projektor 本体や天つり金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない
(Projektor が落下してけがの原因となることがあります。)



- 指定の天つり金具（高天井用、低天井用）を使用する
(落下したり、破損してけがの原因になります。)
- 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する
(こわれたり Projektor が落下してけがの原因になります。)
- 取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する
(天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。)

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

製品の構成

本製品は Projektor を天井からつり下げて設置する際に使用する金具です。
別売品の天つり金具（高天井用、低天井用）と組み合わせて使用します。

■対応している天つり金具および Projektor

● 天つり金具

ET-PKD130H / ET-PKD120H / ET-PKD120S / ET-PKD310H / ET-PKD310S / ET-PKD56H /
ET-PKD55S / TY-PKD55S / ET-PKD100H / ET-PKD100S / ET-PKD77H / ET-PKD75S /
TY-PKD75S

● Projektor

PT-RZ575 / PT-RZ770 / PT-RW730 / PT-RZ660 / PT-RW620 / PT-RZ970 / PT-RW930 /
PT-RX110 / PT-DZ780 / PT-RZ570 / PT-DW750 / PT-DX820 / PT-RZ670 / PT-RW630 /
PT-DZ870 / PT-DW830 / PT-DX100 / PT-DZ770 / PT-DZ680 / PT-DZ6710 / PT-DZ6700 /
PT-DW740 / PT-DW730 / PT-DW640 / PT-DW6300 / PT-DX810 / PT-DX800 / PT-DX610 /
PT-D6000 / PT-D5000

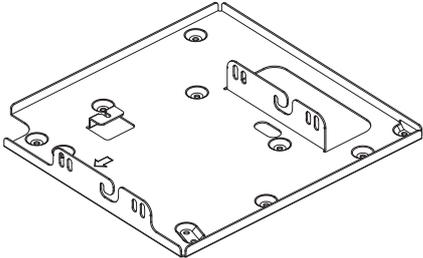
お知らせ

- Projektor に別売品の固定焦点レンズ ET-DLE030 を取り付け使用する場合は、ET-PKD130H と組み合わせることをお勧めいたします。ET-PKD130H と組み合わせることで、左右方向の傾き調整をより細かく行うことができます。
- 上記以外の製品についても対応している場合があります。ご使用の天つり金具（低天井用または高天井用）、および Projektor の取扱説明書をご確認ください。
- 本書では、 Projektor 製品品番末尾のアルファベット記号を省略しています。

製品の構成（つづき）

■構成部品

以下の部品が入っていることを確認してください。<> は個数です。

<p>取付用ベース金具<1></p> 	<p>本金具にプロジェクター本体を取り付けます。 左右方向の傾き調整機能があります。</p>
<p>座金組み込み六角ボルト<6> (M6 × 16)</p> 	<p>プロジェクターへの取り付けに使用します。</p>
<p>平ワッシャー<2> (M8)</p> 	
<p>ワイヤーロープ<1> (線径 約 2.5 mm、長さ 約 800 mm)</p> 	<p>プロジェクターの落下防止のために使用します。</p>

- ねじ類の締めつけトルクは、M6：4 ± 0.5 N・m、M8：10 ± 1 N・m で管理してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

お知らせ

- 取り付けるプロジェクターが次の機種の場合、使用する座金組み込み六角ボルト（M6 × 16）の本数は、付属 6 本中の 5 本になります。
対象機種：PT-RZ575 / PT-RZ770 / PT-RW730 / PT-RZ660 / PT-RW620 / PT-RZ970 / PT-RW930 / PT-RX110 / PT-DZ780 / PT-RZ570 / PT-DW750 / PT-DX820 / PT-RZ670 / PT-RW630 / PT-DZ770 / PT-DZ680 / PT-DZ6710 / PT-DZ6700 / PT-DW740 / PT-DW730 / PT-DW640 / PT-DW6300 / PT-DX810 / PT-DX800 / PT-DX610 / PT-D6000 / PT-D5000

お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

取り付け工事寸法

< 固定焦点レンズ ET-DLE030 を使用の場合 >

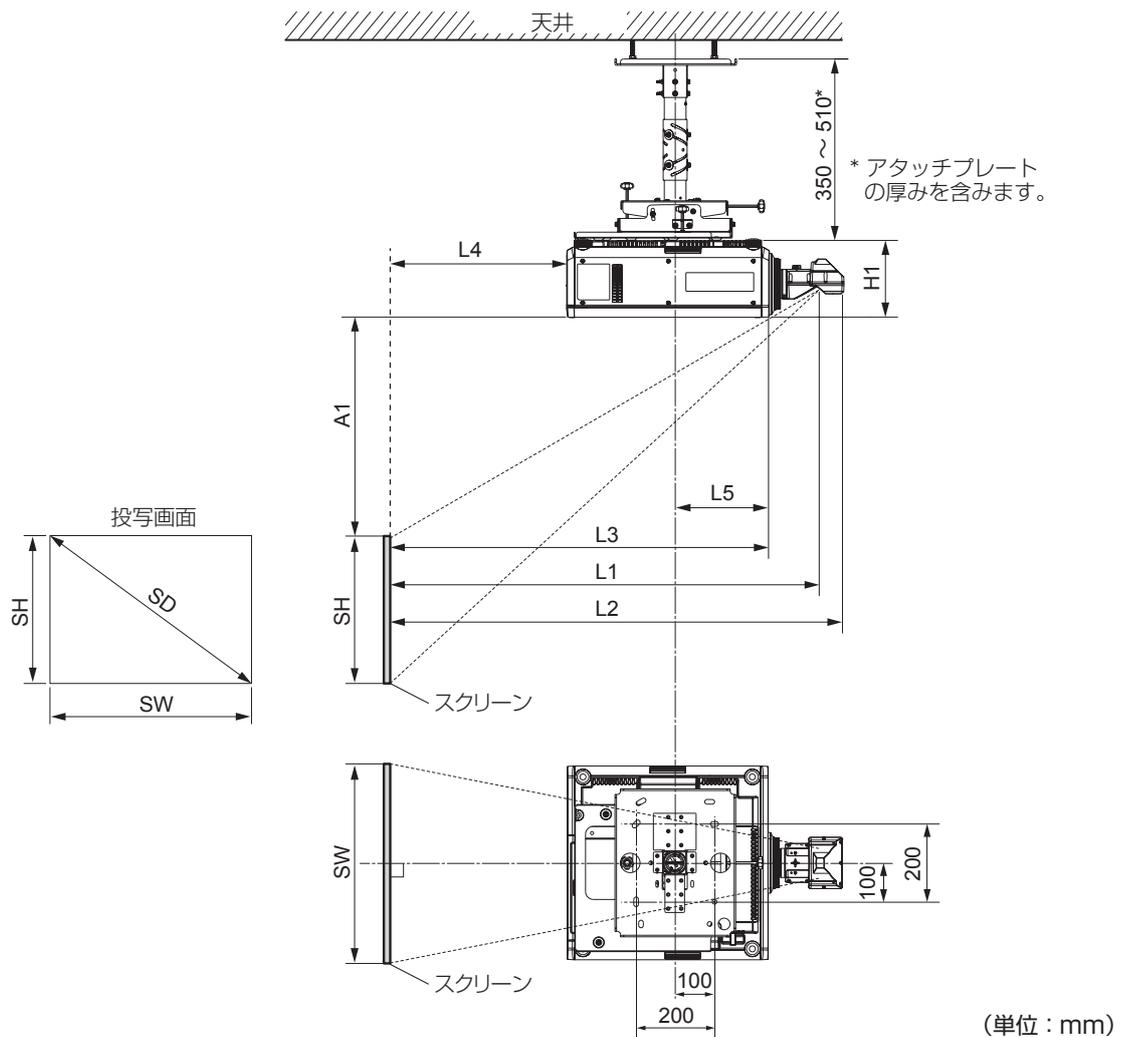
スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記の通りです。

設置可能範囲を確認のうえ、工事寸法を決めてください。

- 天つり金具は ET-PKD130H と組み合わせて使用することをお勧めいたします。

■ 投写関係寸法図

- 固定焦点レンズ ET-DLE030 の「取扱説明書」を併せてご覧ください。
- ET-PKD130H を使用の場合、L1、L2、L3、L4、L5 は前後スライド位置が中央にあるときの値です。詳細については、ET-PKD130H の施工説明書の「取り付けの前に」をご覧ください。



お知らせ

- このイラストは、投写画面のサイズと位置をスクリーンいっぱいに合わせることを前提に表現しています。
- このイラストは正確な縮尺ではありません。

SH	投写画面高さ	L4	スクリーン～プロジェクター後面
SW	投写画面幅	L5	アタッチプレート前後中心～プロジェクター前面
SD	投写画面サイズ	A1	スクリーン上端～プロジェクター天井
L1	投写距離 (スクリーン～ミラー反射面*)	H1	プロジェクター底面 (本製品との接触面) ～プロジェクター天井
L2	スクリーン～レンズ先端		
L3	スクリーン～プロジェクター前面		

* ミラー反射面は固定焦点レンズ内部にあるため外側からは確認できません。

取り付け工事寸法（つづき）

お願い

- プロジェクター本体の吸気口・排気口をふさがないように、周辺の壁や物から 500 mm 以上離して設置してください。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所には設置しないでください。
- プロジェクターの機種によらず、投写画面が長方形になるよう、プロジェクターはその後面とスクリーン面を平行にして設置してください。ただし、設置した後でも、ご使用のプロジェクターによっては「幾何学歪補正（2D）」または「幾何学歪補正」の機能により台形ひずみを補正できる場合があります。詳細については、ET-DLE030 の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 寸法 L4 は、プロジェクター本体の後面と壁面との間の距離ではなく、プロジェクター本体の後面とスクリーン面との間の距離です。
- 「幾何学歪補正（2D）」、「幾何学歪補正」および「台形補正」使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。
- 本書内のプロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なります。

■ 投写関係寸法

- H1、L5 の値

（単位：m）

	PT-RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 / RZ970 / RW930 / RX110 / RZ670 / RW630 / DZ870 / DW830 / DX100	PT-DZ770 / DZ680 / DZ6710 / DZ6700 / DW740 / DW730 / DW640 / DW6300 / DX810 / DX800 / DX610 / D6000 / D5000	PT-DZ780 / DW750 / DX820
H1	0.196	0.155	0.175
L5	0.239	0.147	0.167

- L1、A1 の計算式

（単位：m）

投写画面サイズ SD (m) をご確認のうえ、次の計算式で投写距離 (L1)、およびプロジェクター天面～スクリーン上端の寸法 (A1) を求めてください。

また、L1、A1 を求めることで、それ以外の寸法についても計算することができます。

（次の表の計算式で求められる値には若干の誤差があります。）

投写距離を、画面サイズ呼称（インチ数値）を用いて計算する場合は、インチ数値を 0.0254 倍したものを投写距離計算式の SD に代入してください。

PT-RZ770 / PT-RZ660 / PT-RZ970 / PT-RZ670 / PT-DZ870

	アスペクト比 16:10	アスペクト比 16:9	アスペクト比 4:3
L1	= 0.3205 × SD + 0.0047	= 0.3294 × SD + 0.0047	= 0.3628 × SD + 0.0047
A1	= 0.1977 × SD - 0.0721	= 0.2304 × SD - 0.0721	= 0.2238 × SD - 0.0721

PT-RW730 / PT-RW620 / PT-RW930 / PT-RW630 / PT-DW830

	アスペクト比 16:10	アスペクト比 16:9	アスペクト比 4:3
L1	= 0.3365 × SD + 0.0047	= 0.3459 × SD + 0.0047	= 0.3809 × SD + 0.0047
A1	= 0.2597 × SD - 0.0740	= 0.2942 × SD - 0.0740	= 0.2941 × SD - 0.0740

PT-RX110 / PT-DX100

	アスペクト比 4:3	アスペクト比 16:9
L1	= 0.3133 × SD + 0.0047	= 0.3413 × SD + 0.0047
A1	= 0.1881 × SD - 0.0715	= 0.2866 × SD - 0.0715

PT-DZ780 / PT-DZ770 / PT-DZ680 / PT-DZ6710 / PT-DZ6700

	アスペクト比 16:10	アスペクト比 16:9	アスペクト比 4:3
L1	= 0.3205 × SD + 0.0047	= 0.3294 × SD + 0.0047	= 0.3628 × SD + 0.0047
A1	= 0.1977 × SD - 0.0671	= 0.2304 × SD - 0.0671	= 0.2238 × SD - 0.0671

取り付け工事寸法（つづき）

PT-DW750 / PT-DW740 / PT-DW730 / PT-DW640 / PT-DW6300

	アスペクト比 16:10	アスペクト比 16:9	アスペクト比 4:3
L1	= 0.3365 × SD + 0.0047	= 0.3459 × SD + 0.0047	= 0.3809 × SD + 0.0047
A1	= 0.2597 × SD - 0.0690	= 0.2942 × SD - 0.0690	= 0.2941 × SD - 0.0690

PT-DX820 / PT-DX810 / PT-DX800 / PT-DX610 / PT-D6000 / PT-D5000

	アスペクト比 4:3	アスペクト比 16:9
L1	= 0.3133 × SD + 0.0047	= 0.3413 × SD + 0.0047
A1	= 0.1881 × SD - 0.0665	= 0.2866 × SD - 0.0665

●L2、L3、L4 の計算式

(単位：m)

	PT-RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 / RZ970 / RW930 / RX110 / RZ670 / RW630	PT-DZ870 / DW830 / DX100	PT-DZ770 / DW740 / DX810 / DZ680 / DW640 / DX610 / DW730 / DX800 / DZ6710 / DZ6700 / DW6300 / D6000 / D5000	PT-DZ780 / DW750 / DX820
L2	L1 + 0.023			
L3	L1 - 0.166			L1 - 0.146
L4	L1 - 0.704	L1 - 0.679	L1 - 0.589	L1 - 0.644

< 固定焦点レンズ ET-DLE030 以外、またはプロジェクター PT-RZ575 / PT-RZ570 を使用の場合 >

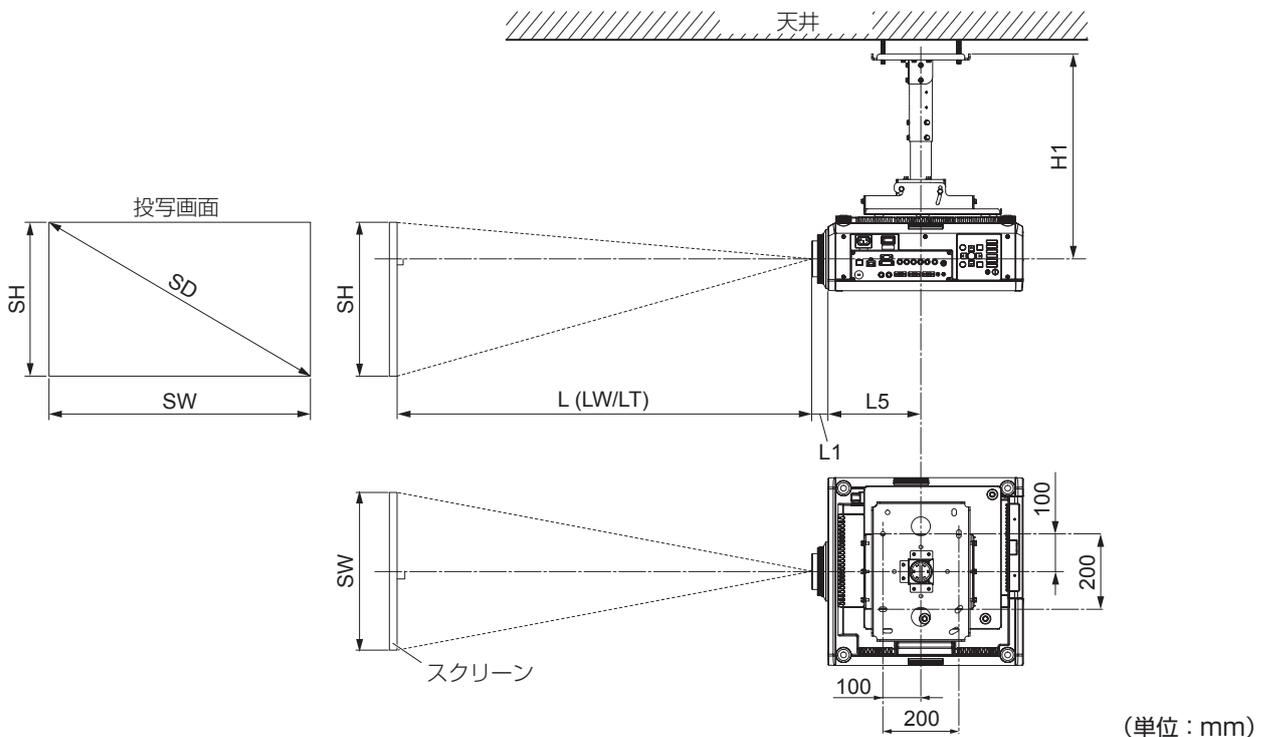
スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記の通りです。

設置可能範囲を確認のうえ、工事寸法を決めてください。

レンズのズーム機能により投写距離が調整できます（ET-DLE055 を除く）。投写画面を確認しながら微調整を行ってください。

■ 投写関係寸法図

- 天つり金具のイラストは ET-PKD120H を組み合わせた場合のものです。



お知らせ

- このイラストは、投写画面のサイズと位置をスクリーンいっぱいに合わせてることを前提に表現しています。
- このイラストは正確な縮尺ではありません。

取り付け工事寸法（つづき）

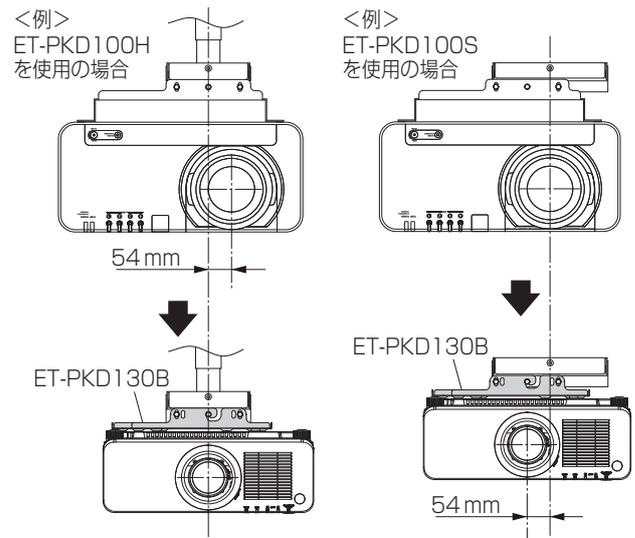
SH	投写画面高さ	L1	レンズ突出寸法（プロジェクター前面～レンズ先端）
SW	投写画面幅	L5	アタッチプレート前後中心～プロジェクター前面
SD	投写画面サイズ	H1	レンズ中心～アタッチプレート間（アタッチプレートの厚みを含む）
L	投写距離		

お願い

- プロジェクター本体の吸気口・排気口をふさがないように、周辺の壁や物から 500 mm 以上離して設置してください。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所には設置しないでください。

お知らせ

- 既設の高天井用天つり金具 ET-PKD100H、ET-PKD77H を使用する場合、取り換え前のプロジェクターの投写レンズの中心位置は、アジャストポール中心軸を基準に 54 mm シフトしていますが、例えば PT-DZ870 に取り換えた場合、投写レンズの中心位置は右図のように左に 54 mm 移動します。
- 既設の低天井用天つり金具 ET-PKD100S、ET-PKD75S、TY-PKD75S を使用する場合、取り換え前のプロジェクターの投写レンズの中心位置は、アタッチプレート左右中央と一致していますが、例えば PT-DZ870 に取り換えた場合、投写レンズの中心位置は右図のように左に 54 mm 移動します。
- 本書内のプロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なります。



■ 投写関係寸法

- H1、L5 の値

(単位：m)

		PT-RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 / RZ970 / RW930 / RX110 / RZ670 / RW630 / DZ870 / DW830 / DX100	PT-DZ770 / DZ680 / DZ6710 / DZ6700 / DW740 / DW730 / DW640 / DW6300 / DX810 / DX800 / DX610 / D6000 / D5000	PT-DZ780 / DW750 / DX820	PT-RZ575 / RZ570
ET-PKD120H	H1	0.464 ~ 0.544	0.428 ~ 0.508	0.443 ~ 0.523	0.442 ~ 0.522
	L5	0.244	0.152	0.172	0.175
ET-PKD310H / PKD56H / PKD77H	H1	0.452 ~ 0.532	0.416 ~ 0.496	0.431 ~ 0.511	0.430 ~ 0.510
	L5	0.244	0.152	0.172	0.175
ET-PKD100H	H1	0.526 ~ 0.646	0.491 ~ 0.611	0.506 ~ 0.626	0.505 ~ 0.625
	L5	0.244	0.152	0.172	0.175
ET-PKD120S / PKD310S / PKD55S / PKD100S / PKD75S、TY-PKD55S / PKD75S	H1	0.221	0.185	0.200	0.199
	L5	0.239	0.147	0.167	0.170

取り付け工事寸法（つづき）

●L1 の値

（単位：m）

	PT-RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 / RZ970 / RW930 / RX110 / RZ670 / RW630 / DZ870 / DW830 / DX100 / DZ770 / DW740 / DX810 / DW730 / DX800	PT-DZ680 / DW640 / DX610 / DZ6710 / DZ6700 / DW6300 / D6000 / D5000	PT-DZ780 / DW750 / DX820
標準ズームレンズ	0.043	0.017	0.023
ET-DLE055	0.027		0.007
ET-DLE085、ET-DLE080	0.084		0.064
ET-DLE150	0.044		0.024
ET-DLE250	0.045		0.025
ET-DLE350	0.051		0.031
ET-DLE450	0.095		0.075
PT-RZ570		PT-RZ575	
0.032		0.021	

●投写レンズごとの投写距離計算式

投写画面サイズ SD（m）をご確認のうえ、次の計算式で投写距離を求めてください。

（次の表の計算式で求められる値には若干の誤差があります。）

投写距離を、画面サイズ呼称（インチ数値）を用いて計算する場合は、インチ数値を 0.0254 倍した数値を投写距離計算式の SD に代入してください。

PT-RZ770 / PT-RZ660 / PT-RZ970 / PT-DZ780 / PT-RZ670 / PT-DZ870 / PT-DZ770 / PT-DZ680 / PT-DZ6710 / PT-DZ6700

（単位：m）

投写レンズ	アスペクト比	投写距離（L）計算式	
		最短（LW）	最長（LT）
標準ズームレンズ （PT-RZ770 / RZ660 / RZ970 / DZ780 / RZ670 / DZ870 / DZ770 に付属）	16 : 10	$= 1.4906 \times SD - 0.0746$	$= 2.0814 \times SD - 0.0725$
	16 : 9	$= 1.5320 \times SD - 0.0746$	$= 2.1393 \times SD - 0.0725$
	4 : 3	$= 1.6874 \times SD - 0.0746$	$= 2.3563 \times SD - 0.0725$
標準ズームレンズ （PT-DZ680 / DZ6710 / DZ6700 に付属）	16 : 10	$= 1.5551 \times SD - 0.0745$	$= 2.0787 \times SD - 0.0734$
	16 : 9	$= 1.5984 \times SD - 0.0745$	$= 2.1378 \times SD - 0.0734$
	4 : 3	$= 1.7598 \times SD - 0.0745$	$= 2.3583 \times SD - 0.0734$
固定焦点レンズ （ET-DLE055）	16 : 10	$= 0.6893 \times SD - 0.0476$	
	16 : 9	$= 0.7084 \times SD - 0.0476$	
	4 : 3	$= 0.7803 \times SD - 0.0476$	
超短焦点ズームレンズ （ET-DLE085、ET-DLE080）	16 : 10	$= 0.6865 \times SD - 0.0471$	$= 0.8498 \times SD - 0.0442$
	16 : 9	$= 0.7056 \times SD - 0.0471$	$= 0.8735 \times SD - 0.0442$
	4 : 3	$= 0.7772 \times SD - 0.0471$	$= 0.9621 \times SD - 0.0442$
短焦点ズームレンズ （ET-DLE150）	16 : 10	$= 1.1259 \times SD - 0.0540$	$= 1.6243 \times SD - 0.0498$
	16 : 9	$= 1.1572 \times SD - 0.0540$	$= 1.6695 \times SD - 0.0498$
	4 : 3	$= 1.2747 \times SD - 0.0540$	$= 1.8388 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ （ET-DLE250）	16 : 10	$= 1.9665 \times SD - 0.0800$	$= 3.1059 \times SD - 0.0792$
	16 : 9	$= 2.0212 \times SD - 0.0800$	$= 3.1923 \times SD - 0.0792$
	4 : 3	$= 2.2263 \times SD - 0.0800$	$= 3.5161 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ （ET-DLE350）	16 : 10	$= 3.1000 \times SD - 0.1351$	$= 4.6843 \times SD - 0.1346$
	16 : 9	$= 3.1862 \times SD - 0.1351$	$= 4.8146 \times SD - 0.1346$
	4 : 3	$= 3.5094 \times SD - 0.1351$	$= 5.3030 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ （ET-DLE450）	16 : 10	$= 4.6931 \times SD - 0.3017$	$= 7.4193 \times SD - 0.2991$
	16 : 9	$= 4.8236 \times SD - 0.3017$	$= 7.6256 \times SD - 0.2991$
	4 : 3	$= 5.3129 \times SD - 0.3017$	$= 8.3992 \times SD - 0.2991$

取り付け工事寸法（つづき）

お知らせ

- PT-RZ770、PT-RZ660、PT-RZ970、PT-DZ780、PT-RZ670、PT-DZ870 をご使用の場合、超短焦点ズームレンズは ET-DLE085 をご使用ください。
- [幾何学歪補正 (2D)]、[台形補正 (3D)]、[幾何学歪補正] および [台形補正] 使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

PT-RW730 / PT-RW620 / PT-RW930 / PT-DW750 / PT-RW630 / PT-DW830 / PT-DW740 /
PT-DW730 / PT-DW640 / PT-DW6300

(単位 : m)

投写レンズ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
		最短 (LW)	最長 (LT)
標準ズームレンズ (PT-RW730 / RW620 / RW930 / DW750 / RW630 / DW830 / DW740 / DW730 に付属)	16 : 10	$= 1.5651 \times SD - 0.0746$	$= 2.1855 \times SD - 0.0725$
	16 : 9	$= 1.6086 \times SD - 0.0746$	$= 2.2462 \times SD - 0.0725$
	4 : 3	$= 1.7715 \times SD - 0.0746$	$= 2.4736 \times SD - 0.0725$
標準ズームレンズ (PT-DW640 / DW6300 に付属)	16 : 10	$= 1.5630 \times SD - 0.0650$	$= 2.0630 \times SD - 0.0638$
	16 : 9	$= 1.6063 \times SD - 0.0650$	$= 2.1220 \times SD - 0.0638$
	4 : 3	$= 1.7717 \times SD - 0.0650$	$= 2.3346 \times SD - 0.0638$
固定焦点レンズ (ET-DLE055)	16 : 10	$= 0.7237 \times SD - 0.0476$	
	16 : 9	$= 0.7438 \times SD - 0.0476$	
	4 : 3	$= 0.8191 \times SD - 0.0476$	
超短焦点ズームレンズ (ET-DLE085、ET-DLE080)	16 : 10	$= 0.7209 \times SD - 0.0471$	$= 0.8923 \times SD - 0.0442$
	16 : 9	$= 0.7409 \times SD - 0.0471$	$= 0.9171 \times SD - 0.0442$
	4 : 3	$= 0.8159 \times SD - 0.0471$	$= 1.0100 \times SD - 0.0442$
短焦点ズームレンズ (ET-DLE150)	16 : 10	$= 1.1822 \times SD - 0.0540$	$= 1.7055 \times SD - 0.0498$
	16 : 9	$= 1.2151 \times SD - 0.0540$	$= 1.7529 \times SD - 0.0498$
	4 : 3	$= 1.3381 \times SD - 0.0540$	$= 1.9304 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ (ET-DLE250)	16 : 10	$= 2.0649 \times SD - 0.0800$	$= 3.2612 \times SD - 0.0792$
	16 : 9	$= 2.1223 \times SD - 0.0800$	$= 3.3519 \times SD - 0.0792$
	4 : 3	$= 2.3371 \times SD - 0.0800$	$= 3.6912 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ (ET-DLE350)	16 : 10	$= 3.2550 \times SD - 0.1351$	$= 4.9185 \times SD - 0.1346$
	16 : 9	$= 3.3455 \times SD - 0.1351$	$= 5.0553 \times SD - 0.1346$
	4 : 3	$= 3.6842 \times SD - 0.1351$	$= 5.5671 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ (ET-DLE450)	16 : 10	$= 4.9277 \times SD - 0.3017$	$= 7.7903 \times SD - 0.2991$
	16 : 9	$= 5.0647 \times SD - 0.3017$	$= 8.0069 \times SD - 0.2991$
	4 : 3	$= 5.5775 \times SD - 0.3017$	$= 8.8174 \times SD - 0.2991$

お知らせ

- PT-RW730、PT-RW620、PT-RW930、PT-DW750、PT-RW630、PT-DW830 をご使用の場合、超短焦点ズームレンズは ET-DLE085 をご使用ください。
- [台形補正] 使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

取り付け工事寸法（つづき）

PT-RX110 / PT-DX820 / PT-DX100 / PT-DX810 / PT-DX800 / PT-DX610 / PT-D6000 / PT-D5000 (単位：m)

投写レンズ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
		最短 (LW)	最長 (LT)
標準ズームレンズ (PT-RX110 / DX820 / DX100 / DX810 / DX800 に付属)	4 : 3	$= 1.4571 \times SD - 0.0746$	$= 2.0346 \times SD - 0.0725$
	16 : 9	$= 1.5875 \times SD - 0.0746$	$= 2.2167 \times SD - 0.0725$
標準ズームレンズ (PT-DX610 / D6000 / D5000 に付属)	4 : 3	$= 1.4567 \times SD - 0.0650$	$= 1.9213 \times SD - 0.0638$
	16 : 9	$= 1.5866 \times SD - 0.0650$	$= 2.0945 \times SD - 0.0638$
固定焦点レンズ (ET-DLE055)	4 : 3	$= 0.6738 \times SD - 0.0476$	
	16 : 9	$= 0.7340 \times SD - 0.0476$	
超短焦点ズームレンズ (ET-DLE085、ET-DLE080)	4 : 3	$= 0.6711 \times SD - 0.0471$	$= 0.8307 \times SD - 0.0442$
	16 : 9	$= 0.7311 \times SD - 0.0471$	$= 0.9051 \times SD - 0.0442$
短焦点ズームレンズ (ET-DLE150)	4 : 3	$= 1.1006 \times SD - 0.0540$	$= 1.5878 \times SD - 0.0498$
	16 : 9	$= 1.1991 \times SD - 0.0540$	$= 1.7299 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ (ET-DLE250)	4 : 3	$= 1.9224 \times SD - 0.0800$	$= 3.0361 \times SD - 0.0792$
	16 : 9	$= 2.0943 \times SD - 0.0800$	$= 3.3078 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ (ET-DLE350)	4 : 3	$= 3.0304 \times SD - 0.1351$	$= 4.5791 \times SD - 0.1346$
	16 : 9	$= 3.3015 \times SD - 0.1351$	$= 4.9888 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ (ET-DLE450)	4 : 3	$= 4.5876 \times SD - 0.3017$	$= 7.2526 \times SD - 0.2991$
	16 : 9	$= 4.9981 \times SD - 0.3017$	$= 7.9015 \times SD - 0.2991$

お知らせ

- PT-RX110、PT-DX820、PT-DX100 をご使用の場合、超短焦点ズームレンズは ET-DLE085 をご使用ください。
- [台形補正] 使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

PT-RZ570 (単位：m)

アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
	最短 (LW)	最長 (LT)
16:10	$= 1.2598 \times SD - 0.0526$	$= 2.5118 \times SD - 0.0390$
16:9	$= 1.2949 \times SD - 0.0526$	$= 2.5816 \times SD - 0.0390$
4:3	$= 1.4262 \times SD - 0.0526$	$= 2.8436 \times SD - 0.0390$

PT-RZ575 (単位：m)

アスペクト比	投写距離 (L) 計算式
16:10	$= 0.6893 \times SD - 0.0476$
16:9	$= 0.7084 \times SD - 0.0476$
4:3	$= 0.7803 \times SD - 0.0476$

取り付け方

6～12ページの「取り付け工事寸法」をご参照いただき、設置される場所の高さや広さ、建物構造をご確認のうえ、スクリーンとプロジェクターの取り付け位置を決めてください。

既設の天つり金具に本製品を取り付けて使用する場合は、16～18ページの「既設金具を使用する場合」を併せてご覧ください。

スクリーンの取り付け

プロジェクターとの位置関係を考慮のうえ、使用されるスクリーンの種類に合わせて、指定された工事方法でスクリーンを取り付けてください。

ねじ類の締めつけトルク

M6 …… 4 ± 0.5 N・m

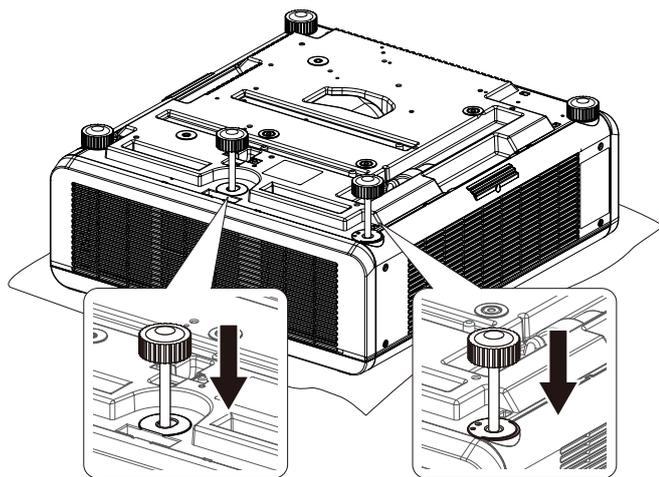
M8 …… 10 ± 1 N・m

M10 …… 20 ± 1 N・m

- ねじ類の取り付けの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

プロジェクターへの金具の取り付け

プロジェクター（別売品）に取付用ベース金具を取り付けます。



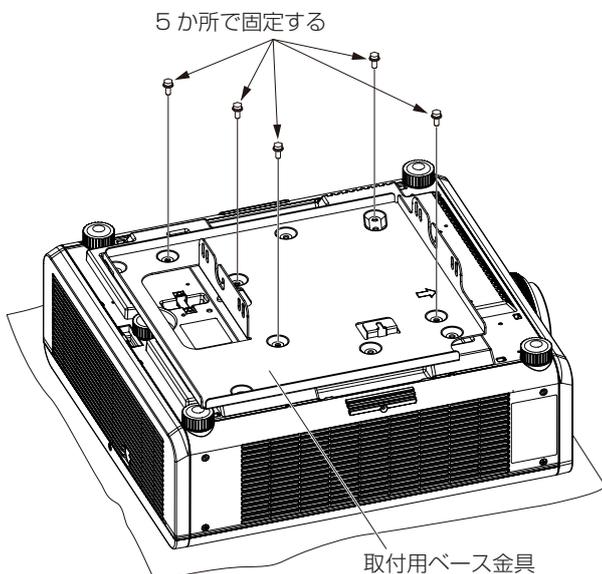
PT-RZ670 / RW630

PT-RZ670 / RW630 / RZ970 /
RW930 / RX110 / RZ770 /
RW730 / RZ660 / RW620

< PT-RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 / RZ970 /
RW930 / RX110 / RZ670 / RW630 の場合 >

- 1) 柔らかい布等の上に、プロジェクターを底面を上にして置く。
- 2) アジャスター脚 (PT-RZ670 / RW630 は左図の2か所、PT-RZ970 / RW930 / RX110 / RZ770 / RW730 / RZ660 / RW620 は左図の1か所) を時計方向に回して締めつけ、最短の状態にする。

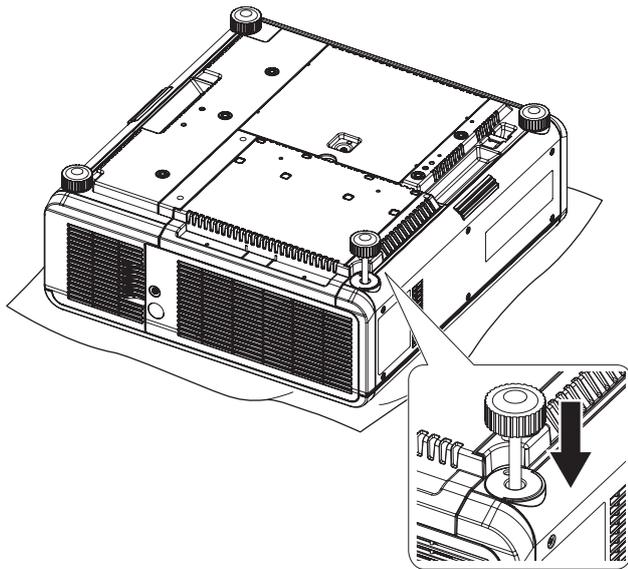
- アジャスター脚（左図の2か所）が長いと、取付用ベース金具がこれに当たり、プロジェクターに取り付けられません。



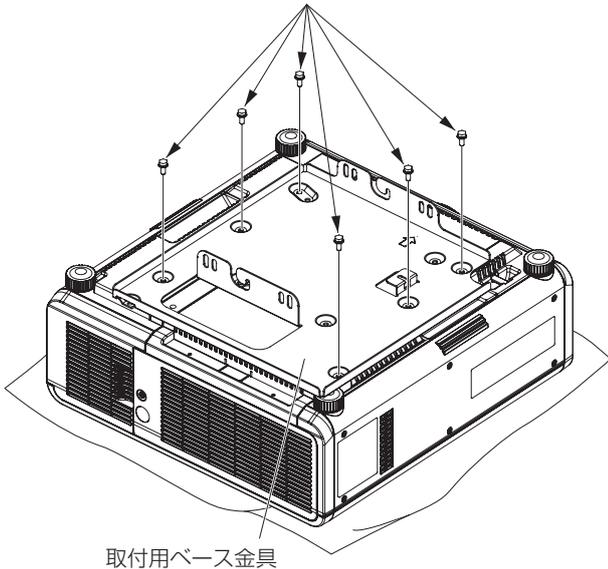
- 3) 左図のように、取付用ベース金具をプロジェクターの底面に付属の座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 5本でしっかりと固定する。

- 本製品には固定用のねじが6本付属していますが、使用するのはこのうちの5本です。

取り付け方 (つづき)

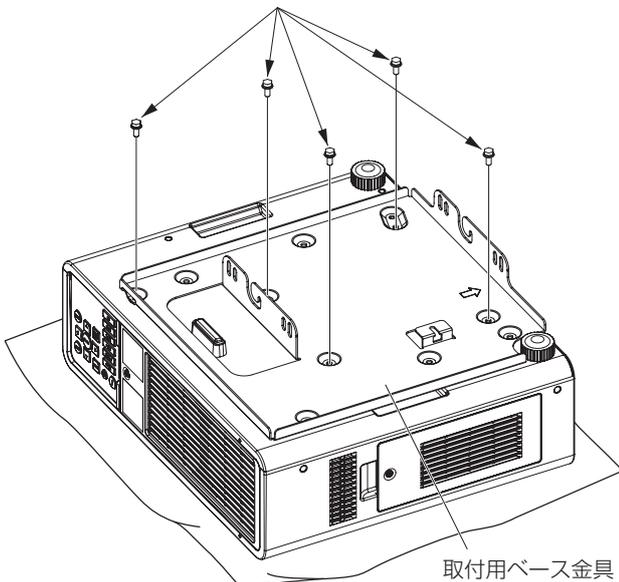


6 か所で固定する



取付用ベース金具

5 か所で固定する



取付用ベース金具

< PT-DZ870 / DW830 / DX100 の場合 >

- 1) 柔らかい布等の上に、プロジェクターを底面を上にして置く。
- 2) アジャスター脚 (左図の箇所) を時計方向に回して締めつけ、最短の状態にする。
 - アジャスター脚 (左図の箇所) が長いと、取付用ベース金具がこれに当たり、プロジェクターに取り付けられません。

- 3) 左図のように、取付用ベース金具をプロジェクターの底面に付属の座金組み込み六角ボルト(M6 × 16) 6本でしっかりと固定する。

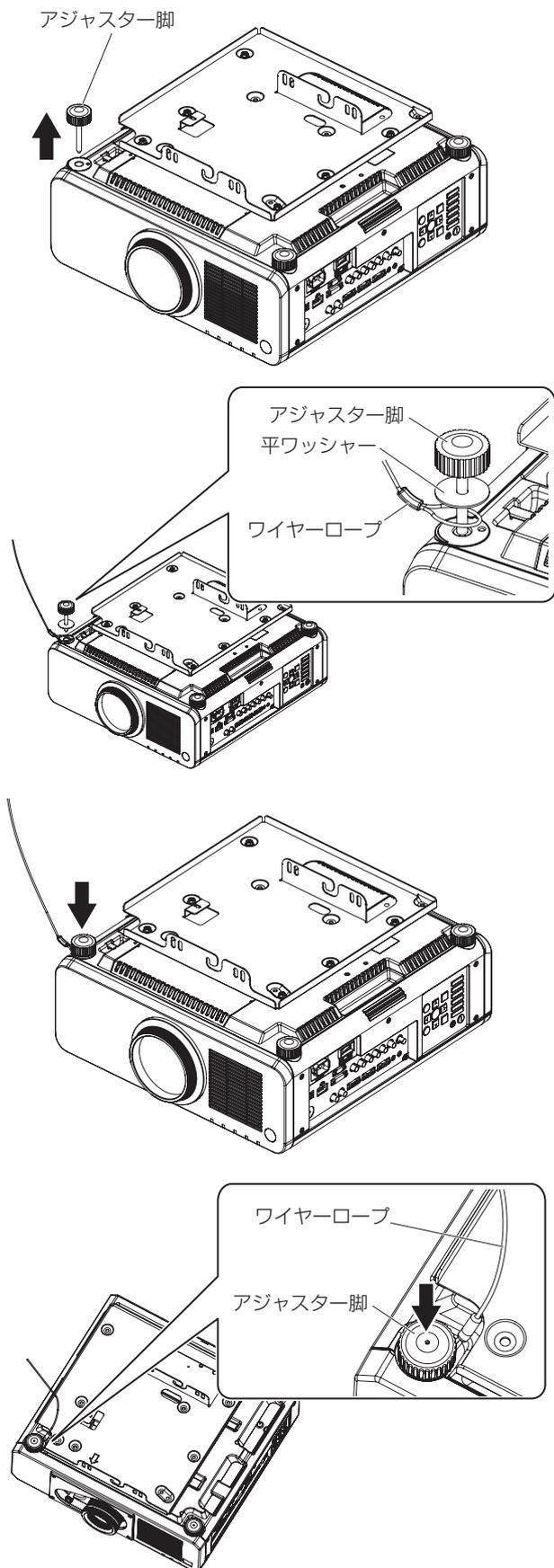
< PT-DZ780 / RZ575 / RZ570 / DW750 / DX820 / DZ770 / DW740 / DX810 / DZ680 / DW640 / DX610 / DW730 / DX800 / DZ6710 / DZ6700 / DW6300 / D6000 / D5000 の場合 >

- 1) 柔らかい布等の上に、プロジェクターを底面を上にして置く。
- 2) 左図のように、取付用ベース金具をプロジェクターの底面に付属の座金組み込み六角ボルト(M6 × 16) 5本でしっかりと固定する。
 - 本製品には固定用のねじが6本付属していますが、使用するのはこのうちの5本です。

取り付け方（つづき）

プロジェクターへの落下防止セットの取り付け

プロジェクター（別売品）に、落下防止のためのワイヤーロープを取り付けます。



1) アジャスター脚（1本）を反時計方向に回して、プロジェクター本体から取り外す。

2) アジャスター脚（1本）に、付属の平ワッシャー（1個）とワイヤーロープを左図のように通す。

お願い

- 平ワッシャーとワイヤーロープは、必ず本製品に付属のものを使用してください。

3) アジャスター脚を時計方向に回して本体に取り付け、締めつける。

お願い

- 本製品と天つり金具（低天井用または高天井用）（別売品）との組み付け、および天井へのワイヤーロープの取り付けについては、ご使用になる天つり金具（低天井用または高天井用）の施工説明書または工事説明書をご覧ください。

- PT-RZ575 / RZ570 への取り付け時にはワイヤーロープを左図のように引き出して、アジャスター脚を締めつけてください。

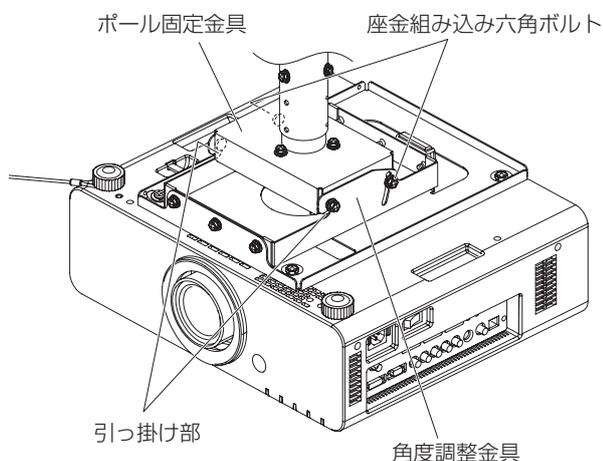
既設金具を使用する場合

既設金具からプロジェクターを取り外す

既設の天つり金具 ET-PKD120H / ET-PKD120S / ET-PKD310H / ET-PKD310S / ET-PKD56H / ET-PKD55S / TY-PKD55S / ET-PKD100H / ET-PKD100S / ET-PKD77H / ET-PKD75S / TY-PKD75S に本製品を組み合わせて使用する場合、あらかじめこれらの天つり金具からプロジェクターを取り外しておく必要があります。

お知らせ

- イラストは、高天井用天つり金具 ET-PKD56H を使用している場合を例としています。他の高天井用天つり金具や低天井用天つり金具の場合も取り外し手順は同じです。
- プロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なる場合があります。



- 1) ワイヤロープを天井から取り外す。
- 2) 座金組み込み六角ボルト 2 本を取り外す。
 - プロジェクターを下から支えながら行ってください。
- 3) 左図のように引っ掛け部がかかっている座金組み込み六角ボルトを少し緩め、ポール固定金具（低天井用天つり金具の場合はアタッチプレート）から角度調整金具を取り外す。

お願い

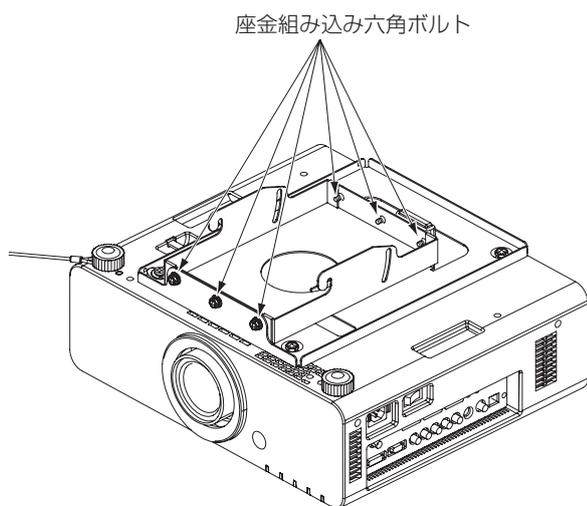
- 引っ掛け部がかかっている座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクターが落下するおそれがあります。



警告



■ 取り外し作業は 2 人以上で行う



- 4) 角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルト 6 本を緩めて外し、角度調整金具を取り外す。

お願い

- 取り外した座金組み込み六角ボルトと角度調整金具は再度使用します。
- 使い終わったプロジェクターとプロジェクター取り付け金具（または取付用ベース金具）は適切に処理してください。

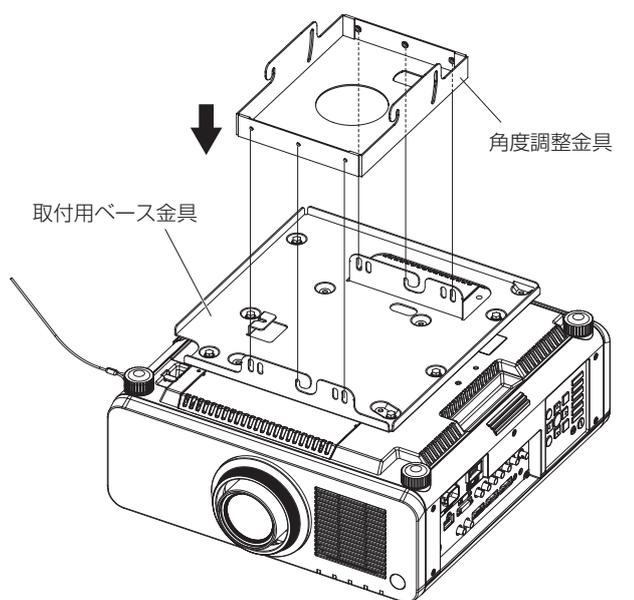
既設金具を使用する場合（つづき）

既設金具にプロジェクターを取り付ける

既設の天つり金具 ET-PKD120H / ET-PKD120S / ET-PKD310H / ET-PKD310S / ET-PKD56H / ET-PKD55S / TY-PKD55S / ET-PKD100H / ET-PKD100S / ET-PKD77H / ET-PKD75S / TY-PKD75S に本製品を組み合わせて使用する場合、13～15 ページに記載の手順でプロジェクターに本製品と、本製品に付属の落下防止セットを取り付けたあと、次の手順で既設の天つり金具にプロジェクターを取り付けます。

お知らせ

- イラストは、高天井用天つり金具 ET-PKD56H を使用している場合を例としています。他の高天井用天つり金具や低天井用天つり金具の場合も取り付け手順は同じです。
- プロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なる場合があります。



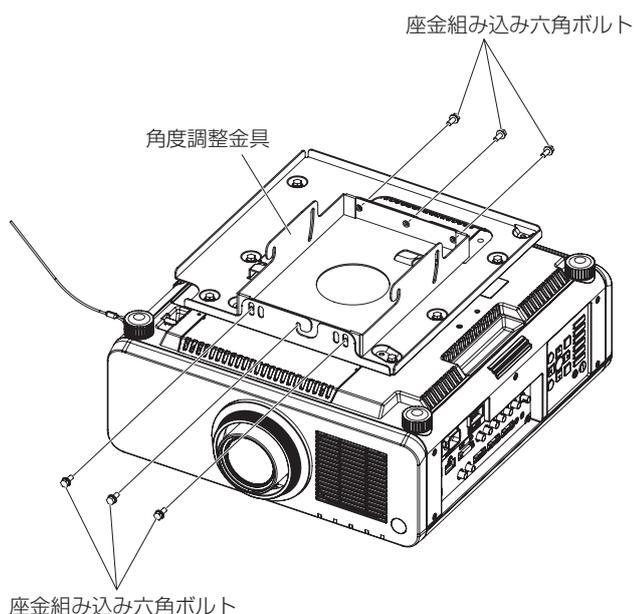
- 1) 左図のように、取付用ベース金具の穴に角度調整金具のねじ穴の位置を合わせ、「既設金具からプロジェクターを取り外す」で取り外した座金組み込み六角ボルト（計6本）で固定する。

お願い

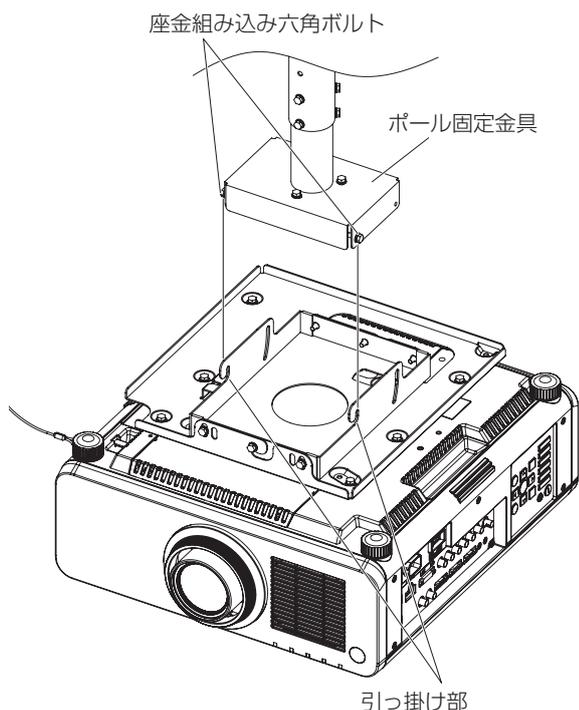
- 座金組み込み六角ボルト（計6本）は、設置角度の調整を行った後、しっかりと締めつけてください。設置角度の調整手順については、ご使用になる天つり金具（低天井用または高天井用）の施工説明書または工事説明書をご覧ください。

お知らせ

- 角度調整金具のイラストはイメージです。座金組み込み六角ボルトの取り付け位置は、角度調整金具の形状によって異なる場合があります。



既設金具を使用する場合（つづき）



- 2) ポール固定金具（低天井用天つり金具の場合はアタッチプレート）に仮止めされている座金組み込み六角ボルトに、角度調整金具の引っ掛け部をはめ込む。

お願い

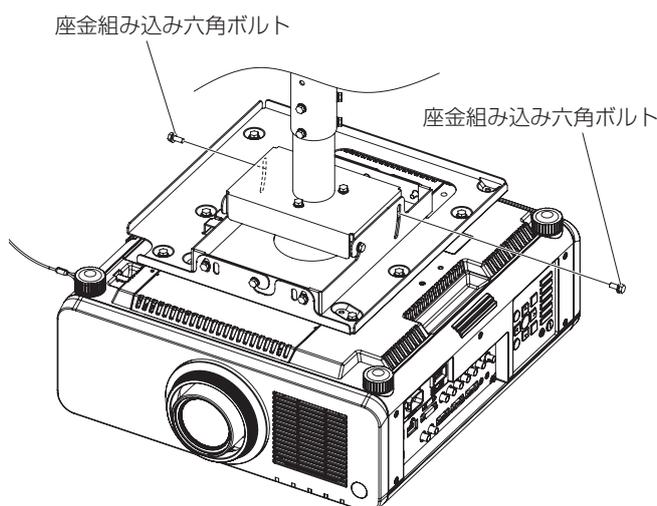
- 仮止めされている座金組み込み六角ボルトがポール固定金具（低天井用天つり金具の場合はアタッチプレート）のねじきり部にしっかりとかかっていることを確認してください。
- 座金組み込み六角ボルトが角度調整金具の引っ掛け部にはまり込むまでは、手を離さないください。



警告



■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う



- 3) 左図のように、「既設金具からプロジェクターを取り外す」で取り外した座金組み込み六角ボルト2本でポール固定金具（低天井用天つり金具の場合はアタッチプレート）と角度調整金具を固定する。

お願い

- 天つり金具へのプロジェクター取り付け完了後、設置角度の調整を行ってください。設置角度の調整手順については、ご使用になる天つり金具（低天井用または高天井用）の施工説明書または工事説明書をご覧ください。

仕様

外形寸法	横幅 378 mm 高さ 56 mm 奥行 400 mm
質量	約 3 kg

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号